



ADRC Highlights

Vol.164

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 June 2007

➤ **フィリピンとの共同プロジェクトを無事完遂**
 □ **GLIDE を利用した災害データベース(CALAMIDAT.Ph)の完成セミナーを開催**

フィリピン国政府の国家災害調整委員会 (NDCC) 市民防災室 (OCD) およびアジア防災センター (ADRC) は、フィリピンにおける GLIDE (世界共通災害番号) 準拠災害データベースおよび Web サイトの構築のため、2006年8月から共同プロジェクトを進めてきましたが、去る4月23日にフィリピン防衛大学において、「GLIDE 準拠 CALAMIDAT. Ph 完成セミナー」を実施いたしました。近年、フィリピン政府において災害対応、意思決定の上で災害のデータベースの重要性が認識されてきています。今回、共同プロジェクトにおいて、フィリピンにおける過去30年間の災害データの整理を行い、災害データベースおよび WEB サイトを構築し、同時に世界災害共通番号である GLIDE を取り入れることによって、国際間の災害データ情報を供覧することが可能になります。この災害データを活用することによってより速く、効率的な災害対応を目指すものであります。また同時に、ADRC が中心になって進めている GLIDE 促進施策のさきがけとなるものであります。



セミナーには、NDCC のエブダネ議長をはじめとして OCD ラボンザ氏を含む総勢70名が参加しました。ADRC からは、鈴木所長、中野主任研究員が来賓・講師として出席し、ADRC の活動紹介、GLIDE の概要と活用、今後の発展について説明いたしました。セミナーでは、活発な質疑がなされ、災害データサイトや GLIDE に対する理解が深められ、大きな期待が寄せられました。

今後は、GLIDE 番号付けした OCD 災害データ (<http://www.calamidat.ph>) の実際の防災への積極的な活用とその優良活用事例を増やしてゆくことになっています。本件につきましては、当センターの中野主任研究員 (nakano@adrc.or.jp) までお願いします。

➤ **アジア防災センタースタッフ紹介 No.28**
 □ **横堀 肇 参与**

5月に広島大学から来ました横堀肇です。広島大学

が立地する東広島市・西条地区旧市街には、ここ灘地区と同様、煙突のある酒蔵地区が密集して残っています。大学では建築計画・都市環境計画が専門でしたが、「書を捨てよ、街へ出よう」と学生を酒蔵に引っ張り出し地域コミュニティとの連携にも力を入れてきました。地元酒蔵の協力を得て、空き空間をお酒に関する図書館にしたり、瓶詰め工場を多目的店舗へするなど、学生が設計・施工に参加する形での再生プロジェクトも実施してきました。

4年間の大学生活の前は、都市再生機構(旧住宅公団)に33年間おり、300人の権利者が居た西新宿木造密集地区に44階建超高層ビルや地権者住宅を建てた再開発を始め、主に密集地区再開発や住宅施設の複合建物プロジェクトを担当してきました。1979年から3年間、JICAの再開発・住宅専門家としてジャカルタに滞在、2,500人居住の木造密集カンポンを4階建集合住宅に建替える事業に協力してきました。以降、国内外・東南アジア、アフリカにJICAセミナー講師などの形で、関わってきています。また1988年にはミンガン州立大学で1学期間、「アジアの居住環境実態と整備事業」を講義し、アメリカ社会も垣間見してきました。



防災でも再開発と同様コミュニティとの連携、特にその日常化が重要と考えています。ここADRCでも、防災の専門の方の活動に、私の経験を生かし、有意義な仕事ができるよう努力して行きたいと考えております。

➤ **アジア最新災害情報**
 □ **中国の地震**

2007年6月3日午前5時34分(現地時間)、中国南西部の雲南省普洱市でマグニチュード6.4(中国国家防災センター：NDRCC調べ)の地震が発生し、深刻な人的、物的被害が生じました(GLIDE: EQ-2007-000074-CHN)。

2007年6月6日付NDRCCの発表によりますと、死者3名、重軽傷者313名、被災者53万6,000名となっています。また、倒壊家屋9万棟、その他被災家屋は27万棟となり、直接経済被害額は25億元(約3億ドル)に及んでいます。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： **Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)**
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F
 E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546
 誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)